

「空に、地下にのびる都市—東京オリンピック前の建設記録映画—」

日時：2012年6月17日（日）、13:30-17:30（開場は13:00）

場所：東京大学本郷キャンパス 情報学環・福武ホール 福武ラーニングシアター（B2F）

主催：東京大学大学院情報学環（記録映画アーカイブ・プロジェクト）

概要：

記録映画のアーカイブを活用して、映像を用いた多様な研究・教育の可能性を再発見する連続ワークショップ。その第8回は、東京オリンピック前の東京の変貌を記録した建設記録映画を特集します。

1960年代、オリンピックを目指す東京では、街が空に、地下に垂直にのびはじめました。道路も、鉄道も、建物も急速に立体化していきました。街が変わると人びとの生活や、仕事や、考えまでも変わっていきました。

今回の特集では、成長する日本のシンボルとなった東京タワーの建設をはじめ、東京オリンピック直前の青山通りの再開発、銀座の地下鉄日比谷線工事など、変貌していく東京の姿を当時の建設記録映画から見つめます。

ゲストには、「銀座の地下を掘る」を撮影した西村健治氏、都市プランナーとして活躍してきた伊藤滋氏をお迎えし、高度経済成長を通して、都市の建物や交通が、さらには社会や文化のあり方がどのように変化したのかを議論します。

プログラム：

13:00- 開場

13:30- 開会

総合司会：丹羽美之（東京大学）

13:35- 映画上映（約100分）

「東京タワーの建設記録」（1959年、33分、マツオカプロダクション）

東京のシンボル・観光名所となった電波塔、東京タワー。1958年12月に完成した日本を代表するタワー建設工事の記録。（企画 竹中工務店）

「空にのびる街」（1963年、30分、岩波映画製作所）演出 藤久真彦 撮影 奥村祐治
国道246号線、青山通りの拡幅工事に見る都市再開発。地権者の思惑と利害を解決しながら進む住宅の高層化の記録。（企画 日本住宅公団）

「銀座の地下を掘る」（1964年、36分、日本映画新社）演出 苗田康夫 撮影 西村健治
銀座に新設された地下鉄銀座駅の工事記録。様々な土木技術を動員した工事が、眠らない町の足の下で展開する。（企画 帝都高速度交通営団）

15:15- 休憩

15:30- 制作者が語る

西村健治（元日本映画新社）

15:50- パネリスト報告

伊藤滋（東京大学名誉教授）

鳥羽耕史（早稲田大学）

16:30- 全体討論

コーディネーター：吉見俊哉（東京大学）

17:30- 終了